

# 技術 科

教科の重点目標 情報を正しく使う力・考える思考力・まとめる力の育成

	学習指導に関する現状と課題	授業改善のための具体的な取組	補充・発展的な学習指導の計画（具体的な取組の目標値や評価規準等）	今年度の評価（成果と課題）
第三学年	<p>○授業では、知識・技能の習得に時間が偏ってしまい生徒たちに考える機会を与えられていない現状がある。思考・判断する時間の確保が必要である。</p> <p>○多くの生徒が意欲的に授業に取り組んでいる。</p> <p>○試験の結果から、多くの生徒が基礎的・基本的な内容を理解できていることが分かったが、情報に関する基礎的・基本的な技能を習得できていない生徒がいる。</p>	<p>○授業計画を見直し、課題や問題に対して生徒に思考・判断する時間を与える。表計算の単元では、関数やグラフの作成を通して思考力の育成を目指す。</p> <p>○学習を調整する力が身につくように、学習を振り返る時間を確保する。</p> <p>○生徒の興味・関心を引き出すために、生徒の実態に即した授業を行う。</p> <p>○意見の共有や言語活動を充実させ、粘り強く学習に臨む姿勢を身につけさせる。</p> <p>○情報の単元は苦手な生徒が多いため、苦手意識をもたせないように、スモールステップで理解しやすいような学習計画を立てる。</p>	<p>○各授業で難易度を分けた課題を用意することで、個々の能力に適した思考の機会を与える。</p> <p>○また、問題解決のために必要な知識をワークシート等で、個々で問題解決に取り組む環境を作る。</p> <p>○情報と私たちの生活の関係について振り返る機会を与えることで情報の適切な活用法や自分の生活を評価・判断させる。</p> <p>○各学期の反省やアンケートなどから生徒の実態と現状を把握し授業にその情報を生かしていく。</p> <p>○理解が難しい部分では、スモールステップで授業の展開をいくつかの細かい段階に分け、多くの生徒が理解しやすいような授業展開を心がける。理解が難しい生徒には個別に指導を行う。また、実際に模範を目に見せて一緒に作業を行うことで、技能の習得を目指す。</p> <p>○コンピュータが苦手な生徒には、基礎的な内容から丁寧に復習し、苦手意識をなくし、技能を高めていく。</p>	